旭中通信

練馬区立旭丘中学校
学校通信　６月号
令和５年６月１日発行

一戦必勝

一戦必勝そして、南中ソーラン

校長　　渡邊　重幸

５月２７日(土)、昨年の雨の運動会から一転して晴天に恵まれ、第７６回運動会を実施することができました。コロナ感染症が５類へと変わりましたが、感染予防をしながらの全日の競技となりました。そして、来賓の皆様、保護者の皆様を制限することもなくお呼びすることができ、感激も一入(ひとしお)です。全学年２クラスとなり、紅白で競い合うことができました。種目も演舞「南中(なんちゅう)ソーラン」や全校で行う団体種目「追っかけ綱引き」を１つ増やしました。

そして、今年度も子供たちに団体種目、生徒会種目を考えてもらいました。１年、Ｄ組合同団体種目「回天道地」は、昨年度の「TURN STICK FRIEND!」同様、３人一組で棒を持ち、コーンを回って、リレー形式で行いました。２年の団体種目「Jump Rope With Friends」は、昨年度の「跳ぼうぜ！空まで！」同様、大縄跳びを人数を決めて、３分間で跳ぶ回数を競い合いました。そして、３年生は伝統でもある大ムカデ「一心同体　みんなでムカデ」を行いました。３年生は大ムカデ競争をまじかで見たことがなかったので、練習当初は歩いて競い合っていましたが、先生方のアドバイスで例年通りの速さにまで達することができました。改めて、コロナ感染症で一つ一つの競技のコツが失われていったことに気付かされた２週間でした。

今年度は特別な運動会となりました。毎年、「３年生にとっては最後の運動会ですね。」と言っていましたが、この形の校庭で行う運動会は、すべての生徒にとって最後の運動会となりました。スローガンに掲げたように、今まで以上に一戦一戦大切に、そして精一杯競技していたように思えます。また、観客の制限も設けなかったこともあるかもしれませんが、たくさんの卒業生が懐かしみながら、後輩に大きな声援を送っていました。

そして、私の念願だった演舞「南中(なんちゅう)ソーラン」を披露することができました。私が一教員時代は「組体操」「創作ダンス」などかなり時間をかけて練習を行ってきました。しかし、授業時数の確保の観点から、なかなか全員で行うことが困難になってきました。私は何とか全校生徒で一つのものを作り上げ、披露したいと思っていました。私が旭丘小学校の運動会を見た際に「南中ソーラン」を踊っていました。小竹小学校もやっていると聞き、体育科の教員と相談し短い練習期間でできそうだと判断しました。体育科の教員２名（通常・Ｄ組）とも指導経験があり、まじめで意欲的な旭中生は期待通りに踊ってくれました。さらに、精度を上げるために、「極め組東京」の丸山雄大先生にご指導いただき、心身共にバージョンアップすることができました。そして当日、予想以上の出来に感動させられました。

子供たちの頑張る姿をご覧いただくために、早朝よりご来校いただいた来賓の皆様、保護者、ご家族の皆様、そして地域の皆様、大きなご声援ありがとうございました。

３年生が円陣を組み、気合を入れている姿、負けて悔しそうにしている姿、勝って微笑んでいる姿、それは今まで一生懸命に練習に取り組み、一人一人が全力を出し切ったからこそです。「この校庭がなくなっても、旭丘中のこの良き伝統は、永久に不滅です！」

＜開会式＞

＜準備体操＞

＜１０００m走＞

＜１５００m走＞

＜５０mハードル＞

＜3年全員リレー＞

〈Jump Rope With Friends〉

＜追っかけ綱引き＞

＜南中ソーラン＞

＜南中ソーラン＞

〈DRAW RACE（生徒会）〉

＜１００m走＞

＜サスケ＞

＜回天道地＞

〈一心同体　みんなでムカデ　円陣〉

＜代表リレー＞

＜Ａ組女子＞

＜Ｂ組女子＞

＜Ａ組男子＞

＜Ｂ組男子＞

＜宿泊行事のお知らせ＞

＜Ｄ組　移動教室＞
１　日　時　６月１９日（月）
　　～６月２１日（水）
２　場　所　千葉県　岩井方面